

2025 安全報告書

広島高速交通株式会社



〇ごあいさつ

いつもアストラムラインをご利用いただき、誠にありがとうございます。

当社では、地域に信頼される鉄軌道事業者であるために、「輸送の安全性を保持し、お客様へのサービス向上に努めることにより、豊かな社会づくりに貢献する。」ことを経営理念として、安全性・快適性・定時性の向上に取り組んでおります。

令和6年度におきましても「事故・輸送障害・インシデントの発生ゼロ」を安全目標として、開業以来の「鉄道運転事故ゼロ」については継続することができましたが、今後も、日々の堅実な業務に加えて、激甚化する自然災害への対応力や技術継承による人材のレベルアップを図ってまいります。

また、令和6年8月には開業30周年を迎えることができ、10月に開催しました車両基地を開放した特別イベント「アストラム秋のファンまつり」にも予想以上の皆様にお集まりいただきまして、心より感謝申し上げます。

これからも、お客様により信頼してご利用いただくために、皆様からのご意見やご要望などにも真摯に耳を傾けながら、当社の使命である「安全で安心できる運行」と「サービスの向上」に努めてまいります。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、当社の令和6年度における輸送の安全確保のための取組み等をご理解いただくために公表するものです。ご一読いただき、今後ともアストラムラインのご愛顧とご支援を賜りますようお願いいたします。

広島高速交通株式会社

代表取締役社長 荒神原 政司

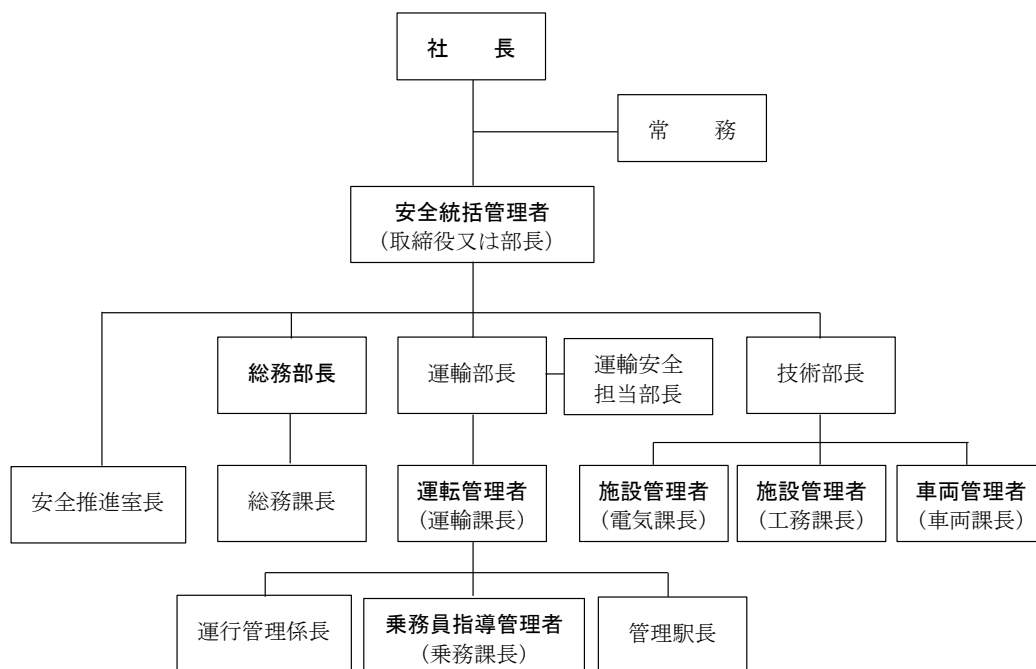
○安全に係る行動規範

輸送の安全を確保するための基本的な方針として、会議体で唱和を行っています。

- (1) 安全の確保は輸送の生命である。
- (2) 規程の遵守は安全の基礎である。
- (3) 執務の厳正は安全の要件である。
- (4) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。
- (5) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- (6) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

○安全管理体制

安全管理規程により、社長が選任した安全統括管理者及び各管理者の役割を定めて安全管理体制を構築し、輸送の安全の確保に取り組んでいます。



社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負います。
安 全 統 括 管 理 者	輸送の安全の確保に関する業務を統括します。
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮のもと、運転及び事故防止に関する事項を統括します。
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮のもと、施設及び災害防止に関する事項を統括します。
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮のもと、車両に関する事項を統括します。
乗 務 員 指 導 管 理 者	運転管理者の指揮のもと、乗務係員の資質の保持に関する事項を管理します。
総 務 部 長	投資・予算・要員計画の検討に当たり、安全性及びその実現性の検証を行います。

○令和6年度の安全目標

・事故、輸送障害、インシデントの発生ゼロ

研修、教育訓練等による人材の育成及び技術の伝承

施設、設備、車両等の機能改良、更新による安全性の向上

・組織の連携強化

情報共有及びコミュニケーションの充実

地震など自然災害発生時の対応力向上

○令和6年度の事故等の発生状況

鉄道運転事故、インシデント（鉄道運転事故等が発生するおそれのある事態）、輸送障害（30分以上の列車遅延、列車運休）について、国土交通省に報告する事故等は発生しませんでした。

※過去3年間に発生した鉄道運転事故等

原因	令和6年度	令和5年度	令和4年度
鉄道運転事故	0	0	0
インシデント	0	0	0
輸送障害	0	0	4（風害1、雪害3）

○安全管理の取組み

・運輸安全マネジメント委員会

社長が委員長となり、輸送の安全性確保に向けたPDCAサイクルによる安全管理体制の継続的改善を行っています。

・安全推進会議

安全統括管理者が議長となり、運転事故防止対策の協議や安全目標に向けた各部門の取組みの進捗状況の確認など、安全管理の連携強化を図っています。

・運転事故防止対策会議

運転管理者が議長となり、発生した事故及び輸送障害等の原因の究明と有効な対策の検討を行い、ヒューマンエラー等の再発防止に取り組んでいます。

・内部監査

社内の内部監査員により、安全管理体制の適合性と改善に向けた取組みを確認するとともに、安全管理に係る「気づき」の共有の場としても活用しています。



○安全確保のための設備投資

・安全関連設備投資

令和6年度は、車両更新（5編成）、高圧送配電線、駅舎照明器具及び駅分電盤などの老朽設備の取替え等に2,939百万円を充当しました。

・施設の保守

運転保安設備、電車線設備及び軌道設備等の保守のため、令和6年度は線路保存費及び電路保存費として427百万円を充当しました。

・車両の保守

車両の全般検査、重要部検査、月検査及び列車検査を実施しており、令和6年度は部品交換や臨時修理を含めて車両保存費として116百万円を充当しました。



○安全確保に向けた取組み

・災害対策本部の設置

令和6年台風10号発生に伴い、災害対策本部（本部長：社長）を設置しました。



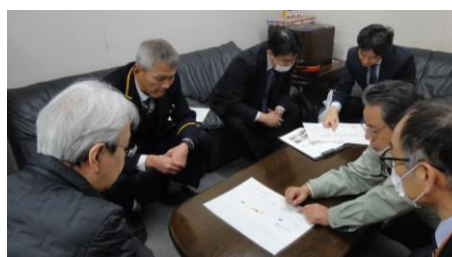
・教育訓練

年間計画を定めて、異常時の対応を含めた各種教育訓練を実施しました。



・職場巡視

社長と安全統括管理者が職場巡視により、現場社員との意見交換を行いました。



○安全と安心のための設備（駅）

・ホームドア

ホームからの転落や列車との接触防止のために、開業から全駅に設置しています。



・非常列車停止装置とインターホン

異常が発生した場合のために、全駅ホームの5両目ドア右側に設置しています。



非常列車停止装置



インターホン



・AED（自動体外式除細動器）

お客様の救命率向上のために、全駅の改札口近くに設置しています。



○安全と安心のための設備（車内）

・ 非常通報器

車内で異常や急病人等が発生した場合のために、全車両に設置しています。



・ 防犯カメラ

車内でのセキュリティを高めるために、全車両に設置しています。



・ バリアフリーへの配慮

車両には、優先座席と車椅子やベビーカー用のフリースペースを設置しています。



※座席シートを下ろすと座ってベビーカー等の様子を見ながら乗車できます。

〇お客様とのコミュニケーション

・お客様の声への対応

令和6年度に皆様からお寄せいただいた「お客様の声」（お客様の声カード・メール等）は437件（前年度279件）でした。

お客様からいただきましたご意見・ご要望は、貴重な情報として、今後の安全性やサービス向上の取組みの参考とさせていただきます。

・お客様の声受付件数

区分	設備	商品	お礼	応対	マナー	その他	計
令和6年度	135	108	82	51	29	32	437
令和5年度	90	42	28	37	33	49	279
令和4年度	55	32	39	61	31	68	286

・マナー大使就任（広島県出身の声優 細谷佳正 様）



・開業30周年記念「アストラム秋のファンまつり」



〇安全報告書のご感想、または安全への取組みに関するご意見をお寄せください。

広島高速交通株式会社

TEL : 082-830-3111 9:00-17:45（土日・祝日・年末年始を除く）

FAX : 082-830-3114

公式ホームページ

<https://www.astramline.co.jp/inquiry/>



やさしさに明日がある

アストラムラインは今日も走ります。
何よりも大きな「安心」を乗せて…

ASTRAMLINE